

# 児童福祉司の任用要件

基礎資格	医師 社会福祉士 精神保健 福祉士	都道府県 知事の指定する 養成校を卒業 又は 都道府県 知事の指定する 講習会の課程を 修了した者	大学で 心理学、 教育学、 社会学を 専修し卒業	助産師 教員(1種) 保健師	看護師 保育士 教員(2種)	児童 指導員	社会福祉主事※1		
実務経験	—	—	相談援助 業務 (指定施設で 1年以上)	相談援助 業務 (指定施設 で1年以上)	相談援助 業務 (指定施設 で2年以上)	相談援助 業務 (指定施設 で2年 以上)	児童福 祉事業 (2年以 上※2)	児童福祉事業 + 児童相談所 所員経験 (合計2年以上 ※3)	児童福祉 事業 (3年以 上※3)
指定講習会 の要否	—	—	—	○	○	○	○	○	○
人数 3,426人 (100%)	1,417人 (41.4%)	262人 (7.6%)	1,096人 (32.0%)	190人 (5.5%)		28人 (0.8%)	433人 (12.6%)		

※1 社会福祉主事:年齢20歳以上の者で以下のいずれかに該当するもの

① 大学、高等学校、専門学校において厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修めて卒業した者

(社会福祉概論、社会福祉事業史、社会福祉援助技術論、社会福祉調査論、社会福祉施設経営論、社会福祉行政論、社会保障論、公的扶助論、児童福祉論、家庭福祉論、保育理論、身体障害者福祉論、知的障害者福祉論、精神障害者保健福祉論、老人福祉論、医療社会事業論、地域福祉論、法学、民法、行政法、経済学、社会政策、経済政策、心理学、社会学、教育学、倫理学、公衆衛生学、医学一般、リハビリテーション論、看護学、介護概論、栄養学及び家政学のうち3科目以上)

② 都道府県知事の指定する養成機関又は講習会の課程を修了した者

③ 社会福祉士

④ 厚生労働大臣の指定する社会福祉事業従事者試験に合格した者

⑤ 前各号に掲げる者と同等以上の能力を有すると認められる者として厚生労働省令で定めるもの

※2 社会福祉主事としての経験

※3 社会福祉主事たる資格を得た後の経験

## 中核市を管轄する児童相談所の管轄人口（平成30年10月時点）

都道府県市名	児童相談所名	管轄区域の人口 (現状)	うち、管轄区域 中核市人口	中核市名	
北海道	旭川児童相談所	618,873	339,605	旭川市	
	函館児童相談所	442,668	265,979	函館市	
青森県	中央児童相談所	310,640	287,648	青森市	
	八戸児童相談所	323,447	231,257	八戸市	
岩手県	福祉総合相談センター	816,920	297,631	盛岡市	
秋田県	中央児童相談所	506,162	315,814	秋田市	
福島県	中央児童相談所	490,647	294,247	福島市	
	県中児童相談所	683,456	335,444	郡山市	
	浜児童相談所	462,182	350,237	いわき市	
栃木県	中央児童相談所	874,317	518,594	宇都宮市	
群馬県	中央児童相談所	835,220	336,154	前橋市	
	西部児童相談所	570,796	370,884	高崎市	
埼玉県	南児童相談所	786,522	578,112	川口市	
	川越児童相談所	1,114,050	350,745	川越市	
	越谷児童相談所	1,272,002	337,498	越谷市	
千葉県	市川児童相談所	1,377,563	622,890	船橋市	
	柏児童相談所	1,356,996	413,954	柏市	
東京都	八王子児童相談所	1,196,144	577,513	八王子市	
富山県	富山児童相談所	623,177	418,686	富山市	
長野県	中央児童相談所	798,626	377,598	長野市	
岐阜県	中央子ども相談センター	799,766	406,735	岐阜市	
愛知県	西三河児童・障害者相談センター	588,590	381,051	岡崎市	
	豊田加茂児童・障害者相談センター	484,352	422,542	豊田市	
	東三河児童・障害者相談センター	700,665	374,765	豊橋市	
滋賀県	大津・高島子ども家庭相談センター	390,998	340,973	大津市	
大阪府	中央子ども家庭センター	1,164,015	404,152	枚方市	
	池田子ども家庭センター	662,149	395,479	豊中市	
	吹田子ども家庭センター	1,121,320	351,829	高槻市	
	東大阪子ども家庭センター		842,696	268,800	八尾市
				502,784	東大阪市

都道府県市名	児童相談所名	管轄区域の人口 (現状)	うち、管轄区域 中核市人口	中核市名
兵庫県	中央子ども家庭センター	1,124,227	293,409	明石市
	西宮子ども家庭センター	1,035,763	452,563	尼崎市
			487,850	西宮市
	姫路子ども家庭センター	839,466	535,664	姫路市
奈良県	中央子ども家庭相談センター	852,534	360,310	奈良市
和歌山県	子ども・女性・障害者相談センター	767,488	364,154	和歌山市
鳥取県	中央児童相談所	232,610	193,717	鳥取市
島根県	中央児童相談所	266,361	206,230	松江市
岡山県	倉敷児童相談所	770,183	477,118	倉敷市
広島県	西部子ども家庭センター	794,087	228,552	呉市
	東部子ども家庭センター	765,254	464,811	福山市
山口県	下関児童相談所	268,517	268,517	下関市
香川県	子ども女性相談センター	561,738	420,748	高松市
愛媛県	福祉総合支援センター	916,709	514,865	松山市
高知県	中央児童相談所	624,067	337,190	高知市
福岡県	久留米児童相談所	673,050	304,552	久留米市
長崎県	長崎子ども・女性・障害者支援センター	954,517	429,508	長崎市
	佐世保子ども・女性・障害者支援センター	422,670	255,439	佐世保市
大分県	中央児童相談所	936,739	478,146	大分市
宮崎県	中央児童相談所	584,080	401,138	宮崎市
鹿児島県	中央児童相談所	1,299,966	599,814	鹿児島市
沖縄県	中央児童相談所	833,122	319,435	那覇市
横須賀市	横須賀市児童相談所	406,586	406,586	横須賀市
金沢市	金沢市児童相談所	465,699	465,699	金沢市

※ 全52か所

※ 人口は平成27年国勢調査

【厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課調べ】

## 児童相談所の設置に向けた検討状況(平成31年2月時点)

### 1 中核市 (対象:52市)

- 「設置する方向」(2ヶ所) : 明石市、奈良市 (明石市は平成31年4月設置予定)
- 「設置の方向で検討中」(5ヶ所) : 旭川市、船橋市、柏市、豊橋市、鹿児島市
- 「設置の有無を含めて検討中」(26ヶ所) : 盛岡市、秋田市、郡山市、いわき市、宇都宮市、前橋市、高崎市、川越市、八王子市、長野市、岐阜市、豊中市、高槻市、枚方市、東大阪市、姫路市、和歌山市、松江市、呉市、福山市、松山市、久留米市、長崎市、佐世保市、大分市、宮崎市

### 児童相談所の設置に向けた都道府県との連携状況(平成31年2月時点)

・児童相談所の設置に向けた検討について、都道府県との連携の状況の選択肢は以下の通り。

- (協議体制) ※(1)～(3)から一つを選択。
- (1) 定期的な情報交換や協議の場がある
  - (2) 定期的な情報交換や協議の場はないが、必要に応じ情報交換等を行っている
  - (3) 都道府県とのやりとりはない
- (人事交流) ※(4)～(6)から選択。複数回答可。
- (4) 都道府県の児童相談所等に職員を派遣(研修等)している
  - (5) 都道府県から職員の派遣(出向等)を受けている
  - (6) 人事交流は行っていない

### 1 中核市 (対象:52市 ※児童相談所設置済みの横須賀市、金沢市は除く)

中核市	(自治体数)	2. 都道府県との連携状況					
		(協議体制)			(人事交流)		
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
設置する方向	2	2	0	0	2	0	0
設置の方向で検討中	5	2	3	0	4	1	1
設置の有無を含めて検討中	26	1	15	10	3	1	23
設置しない	12	0	6	6	2	0	10
未検討	7	0	2	5	1	0	6

一時保護所で生活しているみなさんへ

このアンケートは、みなさんがここでの生活をどのように感じているのか、教えてください。  
みなさんからお聞きした意見などは、ここでの生活が今後よくなるために必要なことを検討するために使わせてもらいます。

このアンケートはこの職員が直接見ることはありませんし、だれが答えたかわからないように、名前を書かなくてよいので、あなたの素直な気持ちをきかせてください。

※あなたの名前を書く必要はありません。

※自分で回答することが難しい場合は、職員にお手伝いをしてもらって回答することもできます。(職員の方に声をかけてください)

※アンケートを書き終えたら、一緒に渡した封筒(テープをはがして封をしてください)に入れて職員に渡してください。

あなた自身について教えてください

問1 性別は。(〇は1つだけ)

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. 男      | 2. 女      |
| 3. その他( ) | 4. 答えたくない |

問2 年齢は。(このアンケートを回答した日の年齢)

歳

問3 ここ(一時保護所)に来た日から今日で何日目ですか。

日目

ここでの生活について教えてください

問4 ここに来る前に一時保護所がどのような所なのか説明されましたか。(〇は1つだけ)

- |        |           |           |
|--------|-----------|-----------|
| 1. された | 2. 覚えていない | 3. されなかった |
|--------|-----------|-----------|

問5 あなたがなぜここで生活をするようになったのか、その理由を説明されましたか。(〇は1つだけ)

- |        |                 |           |
|--------|-----------------|-----------|
| 1. された | 2. されたが、わからなかった | 3. されなかった |
|--------|-----------------|-----------|

問6 ここには、だいたいいつまでいなければならないのか、今のどのような状況なのか、担当の人から話をされましたか。(〇は1つだけ)

- |        |                 |           |
|--------|-----------------|-----------|
| 1. された | 2. されたが、わからなかった | 3. されなかった |
|--------|-----------------|-----------|

問7 あなた自身のこれまでのことや今後どうしたいか、職員に聞いてもらえましたか。(〇は1つだけ)

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1. 聞いてもらえた       | 2. まあ聞いてもらえた  |
| 3. あまり聞いてもらえなかった | 4. 聞いてもらえなかった |

問8 この職員や児童相談所の人で、あなたの話をよく聞いてくれる人はいますか。(〇は1つだけ)

- |       |        |          |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問9 ここでの生活で、職員の人に、大切にされていると感じることはありますか。(〇は1つだけ)

- |         |         |          |           |
|---------|---------|----------|-----------|
| 1. よくある | 2. 少しある | 3. あまりない | 4. まったくない |
|---------|---------|----------|-----------|

問10 自由に過ごせる時間は多いですか。(〇は1つだけ)

- |            |         |
|------------|---------|
| 1. 多い      | 2. まあ多い |
| 3. あまり多くない | 4. 多くない |

問11 自由時間で楽しいことはありますか。それは何ですか。(〇は1つだけ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

具体的にどのようなことが書けてください

問12 外出や面会、電話など、あなたがしたい時にできていますか。(〇は当てはまるものすべて)

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 外出の希望は聞いてもらえる | 2. 面会の希望は聞いてもらえる  |
| 3. 電話の希望は聞いてもらえる | 4. どれも希望は聞いてもらえない |
| 5. 希望したことがない     |                   |

問13 ここから保育園・幼稚園・学校に通っていますか。(〇は1つだけ)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 今まで通っていた学校に通っている      |
| 2. 今まで通っていた学校と違う学校に通っている |
| 3. 通っていない                |

問14 ここで学習している内容は今まで通っていた学校での学習に比べて難しいですか。

(〇は1つだけ)

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 難しい   | 2. やや難しい |
| 3. やや易しい | 4. 易しい   |

問15 学習時間以外の活動(午後の活動等)は楽しいですか。(〇は1つだけ)

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1. 楽しい      | 2. まあ楽しい |
| 3. あまり楽しくない | 4. 楽しくない |

問16 食事はおいしいですか。(〇は1つだけ)

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. おいしい      | 2. まあおいしい |
| 3. あまりおいしくない | 4. おいしくない |

問17 食事の時間は楽しいですか。(〇は1つだけ)

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1. 楽しい      | 2. まあ楽しい |
| 3. あまり楽しくない | 4. 楽しくない |

問18 ここで生活で嫌なことや困っていることはありますか。それはどんなことですか。

(〇は1つだけ)

- |                     |       |
|---------------------|-------|
| 1. 嫌なことや困っていることがある  | 2. ない |
| 具体的にどのようなことか書いてください |       |

問19 不安なことや困ったことなどがあつた時に職員に相談できましたか。(〇は1つだけ)

- |                |           |
|----------------|-----------|
| 1. できた         | 2. できなかった |
| 3. 相談することがなかった |           |

問20 ここでの生活でうれしかったことはありますか。それはどんなことですか。

(〇は1つだけ)

- |                     |       |
|---------------------|-------|
| 1. うれしかったことがある      | 2. ない |
| 具体的にどのようなことか書いてください |       |

問21 ここでの生活(全体をとおして)はどうでしたか。(〇は1つだけ)

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. よかった      | 2. まあよかった |
| 3. あまりよくなかった | 4. よくなかった |

問22 ここでの生活で変えてほしいことやこうなればよいなあと思うことがあれば書いてください。

--

ご協力ありがとうございました。

アンケート調査票を封筒に入れて(テープをはがして封をしてください)、職員に渡してください。

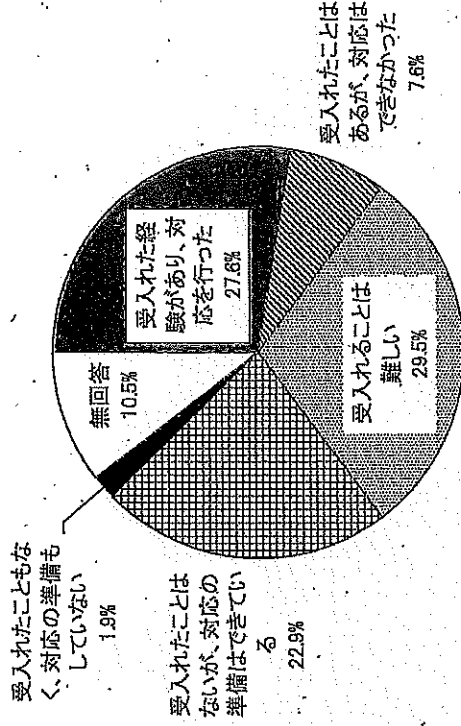


② LGBT等配慮が必要な子どもへの対応

(ア) 対応について

「受け入れることは難しい」という割合が最も高く29.5%。次いで、「受入れた経験があり、対応を行った」が27.6%であった。

図表 48 LGBT等配慮が必要な子どもへの対応 (N=105)



(イ) 具体的な対応・準備の内容 (自由回答)

LGBT等配慮が必要な子どもへの具体的な対応・準備していることについて聞いたところ、以下のような対応が挙げられた。

<子どもの希望を確認>

- ・ トイレの課題等、本人と相談した上で対応を検討する
- ・ 着衣などは児童の希望に応じた
- ・ 身体は女性であったが、本人が希望したので、呼び方を「～君」にした

<居室の配慮>

- ・ 男児と自認している女児を受け入れた際、施設は男女の居室が分かれる構造となっているため、白中は外来相談を、夜間は保護所外の相談室を居室として利用した
- ・ 静養室を活用して個室対応とした
- ・ トイレ付きの個室で対応した
- ・ 居室を把握しやすい位置とする
- ・ 一時保護所とは別に敷地内の建物に個別対応用の居室設備があるので、そこを活用した

<トイレの配慮>

- ・ 男児と自認している女児について、まだ月経がないのでトイレは男児用の個室を使っている
- ・ 多目的トイレを使用させる
- ・ 他児童がないタイミングでトイレを利用してもらった

<入浴の配慮>

- ・ 単独で入浴ができるようにしている

<研修の実施>

- ・ 判定職員による性教育や性加害プログラム等を実施している
- ・ LGBT等に関する研修に参加を促し理解を深める努力をしている

出典：厚生労働省 平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

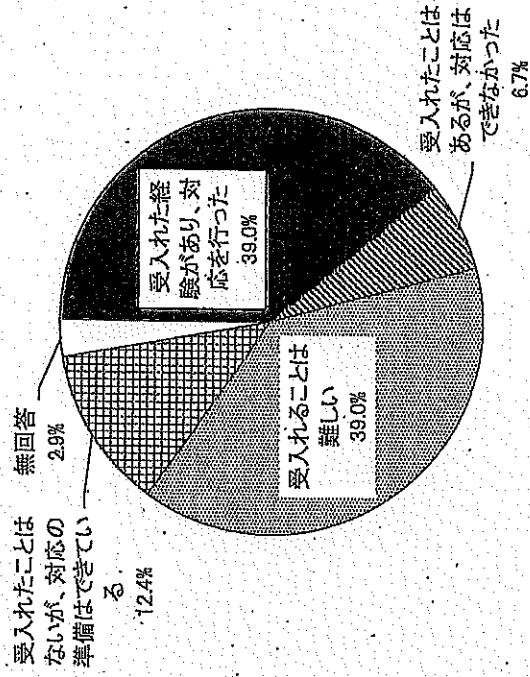
一時保護の第三者評価に関する研究 報告書 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

③ 妊娠している子どもへの対応

(ア) 対応について

「受入れた経験があり、対応を行った」、「受入れることは難しい」が39.0%と最も高くなっている。

図表 49 妊娠している子どもへの対応 (N=105)



(イ) 具体的な対応・準備の内容 (自由回答)

妊娠している子どもへの具体的な対応・準備していることについて聞いたところ、以下のような対応が挙げられた。

<個別対応>

- ・ 主な生活の場を分けて個別に対応した
- ・ 体調を確認し、日課も配慮した
- ・ 児童集団との設定はリスクとしてできるだけ避けた
- ・ つわりがあったので、食事（おかゆ等）の配慮を行った
- <各種手続き・病院への同行>
- ・ 保健師指導、母子手帳の交付に対応した
- ・ 病院への通院・手術・出産に付き添った
- ・ 定期健診は児童心理司や児童福祉司が対応した
- ・ 医療にすぐつながられるよう、病院との連携を図り、体調不良時には通院した
- ・ 保健師と連携しながら対応した

<精神的なサポート>

- ・ 不安な気持ちに寄り添い精神的に安定できるように配慮した

<中絶への対応>

- ・ 堕胎を選択したため中絶の手術・手術後のケアを行った
- ・ 堕胎した事例では、心身ケアや遺児供養の寺の対応まで行った

<出産後の相談>

- ・ 出産後、新生児をどのようにしたらよいか相談し、決定した